

学科 学年	1	科目 分類	プログラミング演 習 I Computer programming I	演習  必修	H21通 年  2単位	学習教育 目標  B	担当	宮下 真信  MIYASHITA Masanobu
概 要	情報処理機器や機械などの制御において、コンピュータシステムのプログラミングは必要不可欠です。本演習では、コンピュータの基本的操作、オペレーティングシステムの基礎、C言語によるプログラミングの基礎について学習します。							
科目目標 (到達目標)	(1) コンピュータの基本的な捜査や情報倫理の理解していること。 (2) オペレーティングシステムの基本的なコマンド操作ができること。 (3) プログラムの動作手順(フローチャート)を記述し、動作手順に沿ってC言語でプログラミングができること。 (4) プログラムが正しく動作しているかを調べる(デバグ)ことができること。デバグに必要なテストプログラムを作成できること。 (5) 既存のプログラムを読み、動作手順を理解できること。							
教科書 器材等	はじめてのUNIX入門 小林真也(監修)他 森北出版 C言語演習 白井修二(著)他 森北出版							
評価の基準と 方法	C言語プログラミングの課題に関するレポート(10課題)の内容によって評価をします。全てのレポートを提出することが単位を修得するための必須条件となります。また、レポートの提出が遅れた場合は、減点対象となるので注意してください。							
関連科目	計算機入門							
<b>授業計画</b>								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回		オリエンテーション： プログラミング演習の進め方、レポートの書き方						
第2回		情報倫理： コンピュータを使うときのルール、メールの使い方						
第3回		オペレーティングシステム1： デレクトリ、フォルダの基本構造、基本コマンド						
第4回		オペレーティングシステム2： ファイル管理、エディタとは？						
第5回		エディタの使い方： 文書やプログラムの入力方法、フローチャートの書き方 プログラムの入力と実行、コンパイラ 1.文字の出力						
第6回		C言語プログラミング1： 2.文字の入出力 3.四則演算						
第7回		C言語プログラミング2： 3.四則演算(整数型) 4.実数の取扱い(実数型)						
第8回		C言語プログラミング3： 5.一定回数の繰り返し 6.繰り返しの判断						
第9回		C言語プログラミング4： 7.条件の判断 8.合計計算						
第10回		C言語プログラミング5： 9.データの集計と平均(データの操作)						
第11回		C言語プログラミング6： 10.最大値・最小値 11.配列の利用(配列の操作)						
第12回		C言語プログラミング7： 12.配列の探索 班別にアルゴリズムを考える						
第13回		C言語プログラミング8： 13.ファイルの作成 14.ファイルの利用と印刷						
第14回		C言語プログラミング9： 15.関数の作成 または 自由課題						
第15回		総合演習とアンケート 自由課題の場合は課題発表(プレゼンテーション方法)						
オフィス アワー		水曜16:30-17:00						
授業アンケー トへの対応								
備 考								
更新履歴		20100324 新規						